

# 東北大学での研究データ 管理の取り組み

東北大学

データシナジー創生機構

元木正和

# パネルでの元木の立ち位置

大学  
研究者レベルでのRDM推進



大学  
研究機関レベルでのRDM推進



NII  
国レベルでのRDM推進



## これまでの取り組み（組織として）

- 研究データ管理公開の推進に向けて、学内の関連部署で情報を共有  
→研究データ管理連絡調整WG発足（2020年1月～）
- ポリシー策定に向けて、研究環境DX推進方策検討TF発足（研究担当理事所掌）（2020年10月～2021年3月）
- 研究データ管理公開ポリシーの制定（2022年1月4日）
- 研究データ管理・公開ポリシーを踏まえた部局実施要領等の策定のためのガイドライン検討WG（2021年3月～）種々困難あり
- データアクセス検討TF（2022年3月～2022年10月）
- データアクセス統括委員会（2022年10月～）
- データ基盤WG（2024年1月～）

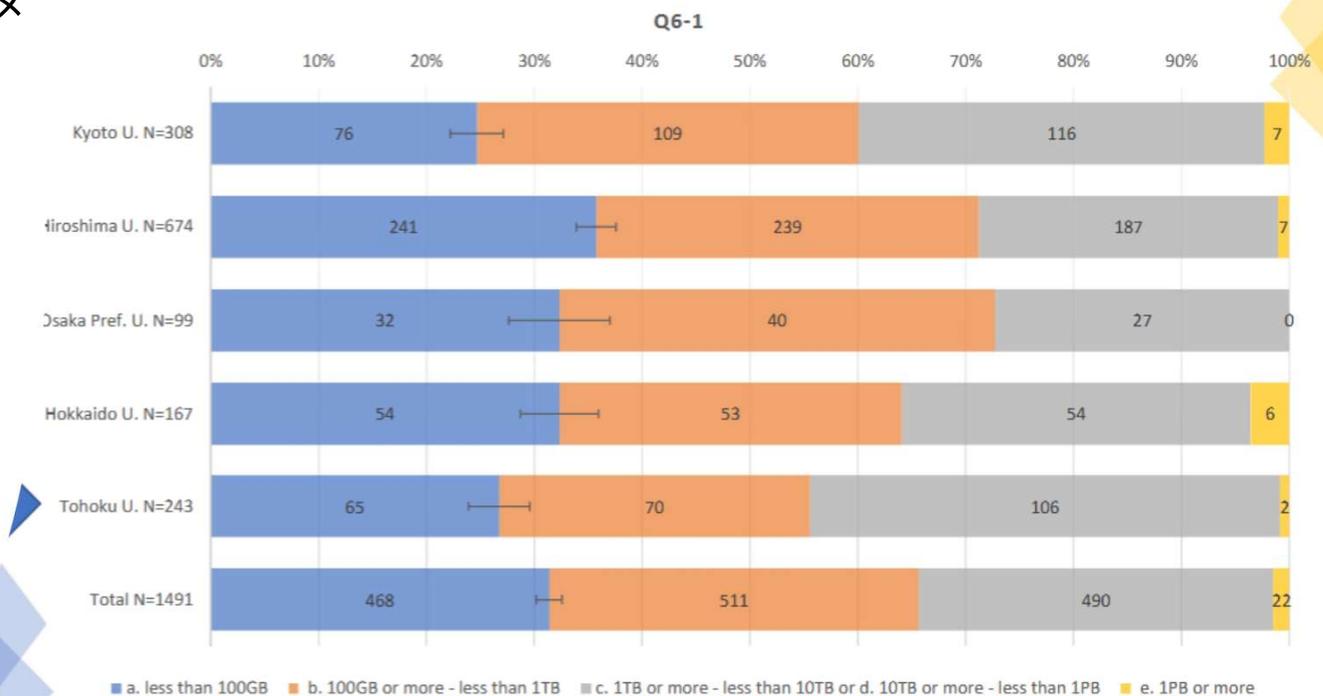
# これまでの取り組み（GakuNinRDMなど）

- GakuNinRDM試行参加（2019年10月）
- 研究データ管理に関するアンケート（学内）（2020年4月）
- GakuNinRDM利用申請（2021年4月）
- 「国立情報学研究所研究データ基盤ストレージ実証実験」参加（～2024年3月）
- GakuNinRDM-JairoCloud連携試行（2025年1月～）
- 東北コンソーシアム（2025年4月～予定）
- エコ事業ユースケースへの斡旋（代表者：伊藤文人「地域コミュニティを基盤とした国際コミュニティ・データベースの構築」）（2024年7月採択）

## • 各大学統合したデータ

Motoki, M. et al. Results of Research Data Management Survey at Tohoku University. 2021 10th International Congress on Advanced Applied Informatics (IIAI-AAI), Niigata, Japan, 2021, pp.277-282, DOI: 10.1109/IIAI-AAI53430.2021.00048

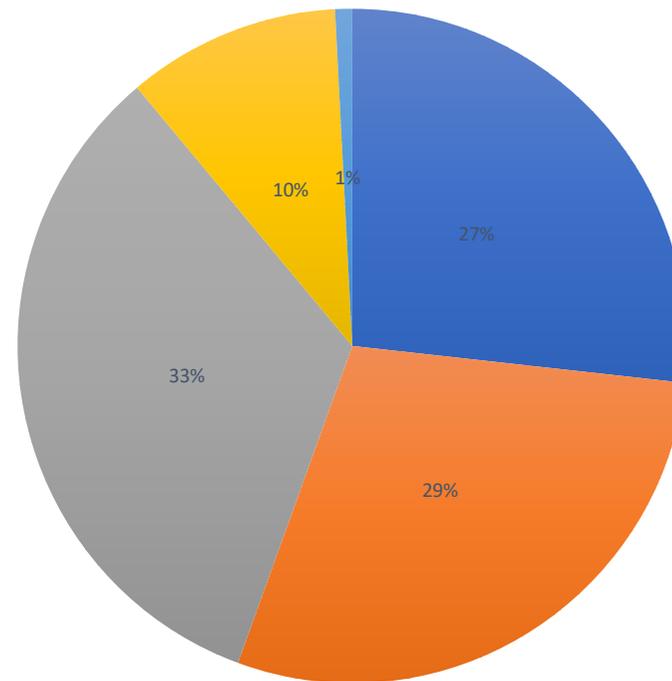
## Q6-1. What is the size of research data that you want to store?



# 質問 6 - 1 (東北大のみのデータ)

- 6-1. [AXIES] 保管したい研究データの規模はどの程度ですか？ \*
- a. 100GB未満
- b. 100GB以上～1TB未満
- c. 1TB以上～10TB未満
- d. 10TB以上～1PB未満
- e. 1PB以上

質問 6 - 1 総計



■ a. 100GB未満 ■ b. 100GB以上～1TB未満 ■ c. 1TB以上～10TB未満 ■ d. 10TB以上～1PB未満 ■ e. 1PB以上

# これまでの学内外広報活動

- 研究データ管理シンポジウム（2023年10月30日）
- 研究データ管理のための東北コンソーシアム設立準備シンポジウム（2024年10月3日）
- （どちらもNIIと共同で主催し、GakuNinRDMの使い方などの初歩的なことから説明。→学内のGRDM利用推進に一定の効果あり）



# 研究データ管理東北コンソーシアム 設立準備シンポジウム

## 第8回UDAC×第8回研究DX戦略セミナー

ハイブリッド開催

オンサイト：東北大学 青葉山 commons 学生ホール  
オンライン：zoom 配信



講演概要 2024 10.3 (木) 14:00-17:00

### 研究データ管理 (RDM) の 東北コンソーシアム設立に際して

東北大学データシナジー創生機構では、「研究データ管理スタートアップ支援事業」の支援機関として、東北地区において当該事業の推進を業務の中心に、「研究データエコシステム：東北コンソーシアム」の向上に貢献を継続してまいります。「研究データ管理のための」字通  
ー 林 隆  
6. 東北大学における研究データ管理の動向  
7. 東北地区における研究データエコシステム東北コンソーシアムへの取り組み予定と参加の案内  
8. パネルディスカッション「地域でのRDM構築と東北コンソーシアム」  
9. クロージング (東北大学データシナジー創生機構 菅沼 拓夫 副機構長)

プログラム 司会：(東北大学データシナジー創生機構 元木 正和)

1. 概要 (東北大学データシナジー創生機構 菅沼 拓夫 副機構長)	14:00-14:15
2. 機械の力で切り開く、研究データ管理のこれから (NII 中野 孝一 先生)	14:15-14:35
3. 研究データエコシステム東北コンソーシアムの組織と役割 (名古屋大学 磯部 成樹 教授 菅沼 拓夫 先生)	14:35-14:55
4. 大学の研究データ管理における GakuNin RDM の役割と実践 (NII 山田 潤介 先生)	14:55-15:15
5. 研究データ管理のための「字通」 (NII 佐藤 真行 先生)	15:15-15:35
ー 林 隆	15:35-15:50
6. 東北大学における研究データ管理の動向 (東北大学 眞字 輝一 先生)	15:50-16:10
7. 東北地区における研究データエコシステム東北コンソーシアムへの取り組み予定と参加の案内 (東北大学 元木 正和 先生)	16:10-16:20
8. パネルディスカッション「地域でのRDM構築と東北コンソーシアム」 (講演者全員、ファシリテータ 菅沼 拓夫 副機構長)	16:20-16:50
9. クロージング (東北大学データシナジー創生機構 菅沼 拓夫 副機構長)	16:50-17:00

申込締切 9.25 (水) 17:00

参加希望の方は QR コードまたは、下記 URL よりご登録ください。  
<https://forms.gle/dxRjkBEfbWdSLZxo7>



[URL] [https://sites.google.com/tohoku.ac.jp/foads-out/notifications/20241003\\_Symposium](https://sites.google.com/tohoku.ac.jp/foads-out/notifications/20241003_Symposium)  
|お問い合わせ先| 東北大学データシナジー創生機構 研究データ管理支援担当 Email: [rdm-support@grp.tohoku.ac.jp](mailto:rdm-support@grp.tohoku.ac.jp)



共催：東北大学データシナジー創生機構/国立情報学研究所 (NII)  
共催：東北大学附属スカラーデータアナリティクスセンター/東北大学研究推進・支援機構知の創出センター  
東北大学附属図書館/東北大学医学連携機構



# 研究データ管理シンポジウム

## 第5回UDAC×第7回研究DX戦略セミナー

ハイブリッド開催

オンサイト：東北大学片平キャンパス 片平さくらホール  
オンライン：zoom 配信



講演概要 2023 10.30 (月) 13:00-16:00

### 本格利用に向けた NII が提供する 研究データ管理サービスについて

近年、オープンサイエンスの推進が図られる中で、研究データの利活用を促進した管理体制を構築することがますます重要になってきています。東北大学では研究データ管理・公開プラットフォームを構築する等、その体制強化を進めており、本シンポジウムは、研究データ管理の基盤となる GakuNinRDM の正式利用開始に合わせて、国立情報学研究所 (NII) の先方にご講演いただくものです。研究者のみならず研究支援者を含めた皆様のご参加を心よりお待ちしております。

プログラム 司会：(東北大学データシナジー創生機構 元木 正和)

1. 概要 (東北大学データシナジー創生機構 菅沼 拓夫 副機構長)	13:00-13:10
2. 研究データ管理基盤 GakuNin RDM 説明 (NII 山田潤介 先生)	13:10-13:40
3. 最新機能の説明 (NII 藤原一輝 先生)	13:40-14:00
4. 次世代機種リネソトリの説明 (NII 林正浩 先生)	14:00-14:20
5. 研究データ管理を学ぶ学習管理システムの説明 (NII 吉川 優子 先生)	14:20-14:40
6. 東北大学で研究データ管理に利用可能なストレージについて (東北大学サイバーサイエンスセンター 中村 隆貴 先生)	14:40-15:00
7. パネル：研究データ管理を全学展開する必要性と課題 (講演者全員、ファシリテータ 菅沼 拓夫 副機構長)	15:00-15:50
8. 東北大学での GakuNinRDM の問い合わせ窓口の案内 (データシナジー創生機構 元木 正和)	15:50-15:55
9. エンディング (東北大学データシナジー創生機構 菅沼 拓夫 副機構長)	15:55-16:00

申込締切 10.26 (木) 15:00

参加希望の方は QR コードまたは、下記 URL よりご登録ください。  
<https://forms.gle/9mEzmXx56zFrjeHDA>



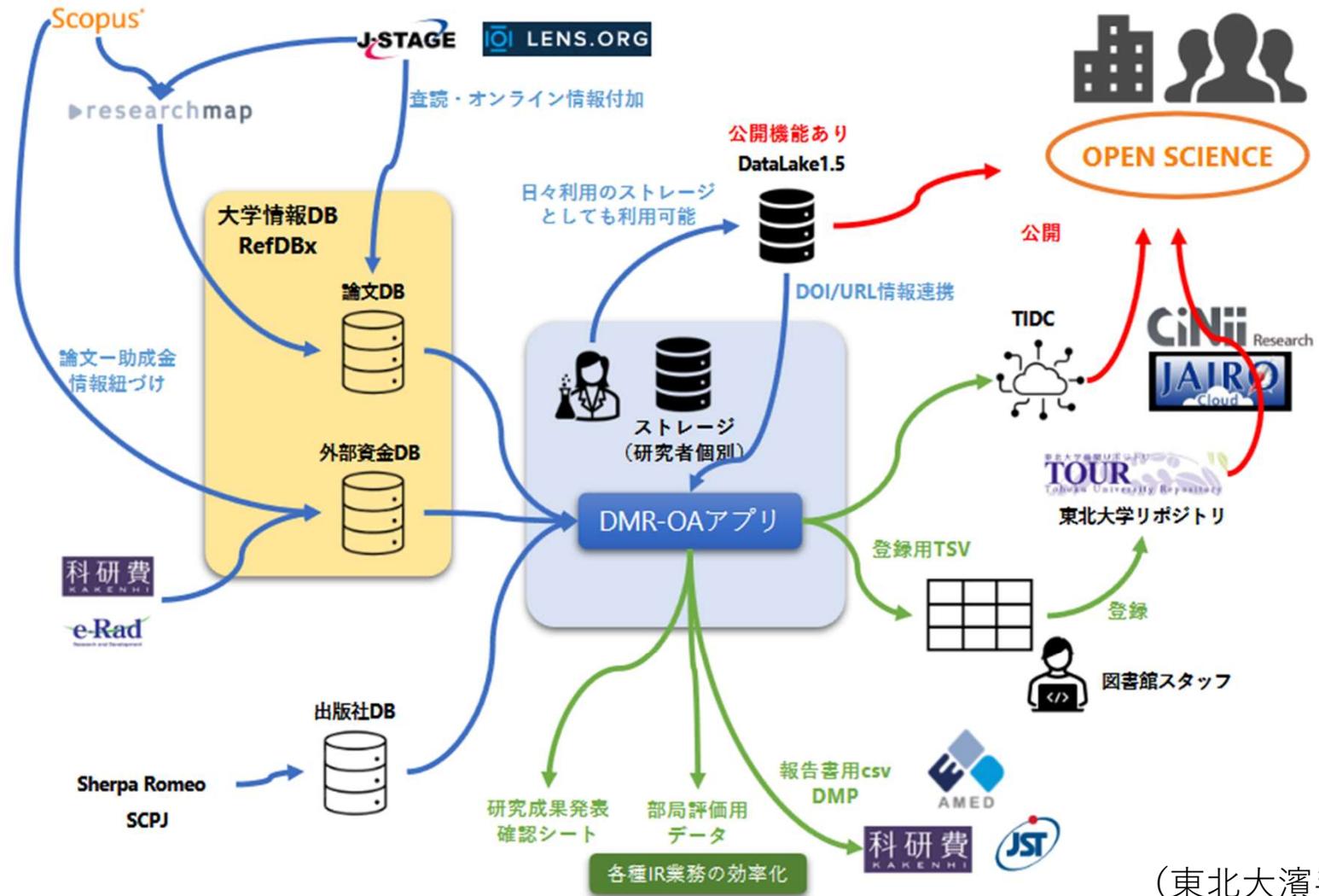
[お問合せ先] 東北大学データシナジー創生機構 研究データ管理支援担当 Email: [rdm-support@grp.tohoku.ac.jp](mailto:rdm-support@grp.tohoku.ac.jp)



共催：東北大学データシナジー創生機構/国立情報学研究所 (NII)  
共催：東北大学附属スカラーデータアナリティクスセンター/東北大学研究推進・支援機構知の創出センター  
東北大学附属図書館/東北大学医学連携機構



# DMR-OAアプリの構成



# ストレージの課題など (東北大中村先生との私信より)

- そもそもストレージの調達どうしよう？（特に中小規模の研究機関）
- 共同研究者（企業等）、様々な研究者の認証ほしいけど。。。
- 研究者異動時のデータコピーどうしよう？
- 有期プロジェクトのデータどうする？消すわけにもいかない。
- 研究データのインターオペラビリティを高めたい！（AI関連で特に、様々な計算機資源を渡り歩く、等あり。「GPU難民」）
- ストレージを使うだけでなく、googleみたいにアカウント管理、グループ管理、容量管理などの自己管理を研究者自身でやりたい。
- JairoCloudに公開用研究データを置くのはデータの2重配置になりコスト高。（そもそも高い）公開用データも自ストレージに置きたい。
- 等々、

# 現状と今後の予定

- メディカルメガバンクなどの取り組みが進んだ組織の担当教員にも種々のWGに参加いただき、RDMに関する知見を共有中。
- 海外の大学の先進事例について、取り入れるべきものは取り入れるべく、活動中。（参考<https://cio.axies.jp/news/176/>）
- 適宜アンケート等を実施し、RDMの状況を把握。
- RDM支援やRDM教育などは未実施。今後東北コンソーシアム等で支援者のスキルの底上げを図る予定。
- 即時OAに対応しつつ、この流れを利用し研究データ管理の浸透を図る。